

命を守る
切り札！！

住宅用火災警報器



住宅用火災警報器
(住警器)は、
なぜ必要なの？

A

住宅用火災警報器は、火災による煙や熱を感知して警報を発し、火災の発生を知らせてくれる機器です。住宅火災による死者の約6割が逃げ遅れによるもので、就寝時間帯に火災が発生しやすいことから、寝室や階段室に設置が義務付けられています。

ステップ1

設置

～住警器の設置は義務です！～

十勝管内の住宅用火災警報器の設置状況は、**82.2%**と全国、全道の平均より下回っている状況です。また、設置が必要な場所全てについている住宅は、70.9%で、約3割の住宅はまだ十分ではない状況です。



ステップ2

点検

～音が鳴るか点検しよう～

いざという時に火災が感知するように半年に1回は点検して、電池切れや故障がないか確認してください。また、ホコリなどがあると火災を感知しなくなることがありますので、乾いた布でホコリや汚れをふき取ってください。

住宅用火災警報器の点検方法



ボタンを押す



または ひもを引く

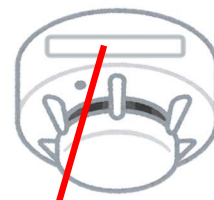
ステップ3

交換

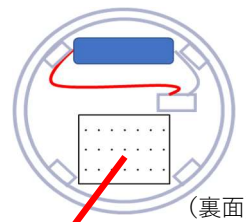
～10年経ったら交換しよう～

古くなると、電池切れや部品の劣化などで、火災を感知しなくなることがあります。設置から10年経ったら、または、電池切れの音が鳴ったら本体ごと交換をしてください。

年数確認方法



〇〇年〇月設置



製造年〇〇年〇月

※機種によって場所が異なりますので、詳しくは取扱説明書をご確認ください。